

社長の1日に密着!



皆さんは「経営者の1日」と聞くとどんな様子が思い浮かびますか?毎日ゆったりと優雅に……なんてことはありません。「仕事が一番の楽しみ」という高橋社長の1日は、朝から晩まで超パワフル!その高パフォーマンスの秘訣とは?次の目標を見据え、事業拡大に向けて挑み続ける雄姿にも、ぜひご注目ください!



代表取締役 **高橋 和義**さん

2023年の振り返り

働き方改革と若手育成が課題。
バラエティ豊かな中途組に期待

忙しい1年でした。業績は好調ですが、計画どおりには進んでいない状況です。働き方改革の時代に、残業・休日出勤が当たり前の状況を、なんとか変えなければいけません。また、今年は若い世代が増え、若手育成の期間にするつもりでしたが、それもまだ途中です。次世代を育てるためもっと時間とお金を掛けるべきだったと反省しています。

一方、中途社員として様々な人材が集まってきた年でもありました。お互いの個性と経験を活かし、高め合っていけるでしょう。今後、より大きく成長する可能性しかないと思っています。



今後の展望

次の目標は **ホールディングス化と年商50億**

今年の7月、株式会社三和鋼産(みつわこうさん)を新会社として立ち上げました。メイン事業は鷲や鍛冶の仕事で、現在11名が所属しています。ほかに基本合意まで進んだ会社があり、来年はさらに1社増える予定。社内報第2号でお伝えした「3拠点で年商20億」の目標は、近い将来達成できる見通しがついてきました。また、6月にブラジルを訪問し、ブラジル製の機械を仕入れる話を進めてきました。こちらも順調ですし、来年以降、随時売れていくでしょう。目標を達成する前に、その次の目標を決め走り出す方が、私の性分にあっているようです。今後は「グループ会社をホールディングス化し、年商50億達成」を新しい目標に掲げ、走り続けてまいりたいと思います。

一番の楽しみは「仕事」

いつでも**上昇志向**、**こまめに休んで健康を維持**



基本、どの時間も手を抜くことはなく、その場その場に全力を注いでいます。私は仕事が一番の楽しみで、いつでも頂上を目指して頑張っていたい気持ちがあります。パフォーマンスを保つ秘訣は、こまめに睡眠を取ること。隙間時間に20分寝るだけでも随分違います。頑張りすぎて燃え尽きるのではなく、適度に力を抜いて調整しています。



最も大切にしている時間

夜のコミュニケーションが本領発揮の時間

社長の大事な役割の1つは、お客様や社員とのコミュニケーション。特に、夜のコミュニケーションの時間を大切にしています。会合では、皆さんの素晴らしい仕事ぶりを話題に話が進みます。私は外見から人柄を誤解されがちですが、飲みに行くと評価が上がるタイプ。「こんなに感じの良い人だと思いませんでした」「しゃべると面白いじゃないですか」とよく言われます。もちろん、社員と飲みに行き交流を図ることもあります。



12:00 昼食・現場状況の把握

車で15分の仙台工場に行き、社員と昼食を取ります。進行中の複数の現場の状況が、ここで把握できます。

13:00 ~ 15:00 来客対応

16:00 仙台工場へ

19:30 会合(1件目)

基本、夜は全てさまざまな会合の予定が1~2件入っています。



21:00 会合(2件目)

会合が終わると、夕食を兼ねて軽く飲みに行きます。お酒に弱く二日酔いしやすい体質のため、あまり多くは飲みません。2杯ほど飲んだ後は、コーラか烏龍茶にしています。

23:00 帰宅・入浴

0:00 仕事(自宅)

パソコンとiPadを駆使しています。

2:00 就寝

おはようございます!
1日がスタート

8:30 起床・朝食・出社準備

ボサボサの髪は帽子にしまい込みます(笑)
準備が終わったら出勤

子どもを送ってから会社に向かう日もあります。最近では合唱コンクールの日、朝早く起きて娘とその友達2人を学校に送ってから出社しました。



9:00 午前中の業務開始

見積もりや企画立案などのデスク業務は、手が空いた時間に片付けます。

10:00 来客対応

対面またはZoomで実施。毎日3~4件、お客様との打ち合わせの予定が入ります。

11:00 社内打ち合わせ

本社事務所で、事務員や資材部と打ち合わせ。その後、本社工場に向かいます。



高橋社長が母校へ

代表取締役
たか はし かず よし
高橋 和義さん

ハンドボール部に贈呈品をプレゼント!!

地場密着型の企業として、地域貢献活動は重要な事業の1つとも言えるでしょう。その一環として、高橋社長が母校へある贈呈品を送ったようです。社長にゆかりのある品を贈呈した経緯、そして高校時代の思い出にもご注目ください!



母校に贈呈した理由

溢れ出る母校愛を形として実現

昨年、当社で「私募債」というタイプの社債を発行しました。不特定多数の投資家を対象とする「公募債」に対し、「私募債」は比較的小規模で対象者も少数。地域に貢献することを目的とした社債です。その貢献先として選んだのが、私の母校である「仙台商業高校」でした。ハンドボール部に所属していたこともあり、ハンドボールに関する用品をいくつかピックアップ。今部活で汗を流している学生たちの力になればということで、練習試合用のハンディタイマーやドラム、フロアスタンド、二段表示用ステーなどを贈呈したという経緯です。ちなみに、当時私の担任だった先生は、芸人の『サンドウィッチマン』の担任教師でもありました。お2人の方が10個も上の先輩なので在学期間は被っていませんが、今でもよく母校に来てくれているようです。



ハンドボール部時代の思い出

スポーツ推薦入学からセンターのエースへの道

私はスポーツ推薦で高校に入学することが決まっていたため、中学3年の2月頃から早くも高校の練習に参加していました。当時、体格の違いを感じることもありましたが、「入部して数か月経てば、活躍できるはずだ」という自信に満ちた思いを抱いていました。これまでの経験を振り返ると、未だにあの瞬間を鮮明に覚えています。高校に入学し、正式に入部してからは厳しい練習に直面することもありました。特に外周走は本当にキツかったです……。最初は中位のスピードで走っていましたが、入部から1か月後には2、3番目を走ることができるようになりました。そして、いつの間にか1番の座を射止めることになりました。この成長は得意としている持久力の向上によるものだと考えています。私は毎回の練習で常に全力を出し切るようにしました。同じ時間を過ごす他の部員とは同じですが、取り組む姿勢によって結果が変わるのだと感じました。

私はチームでセンターのポジションを担当し、部活動内でのエース的存在でした。攻めだけでなく、ディフェンスも得意でした。厳しい部活動の中で自分自身に立ち向かう強さを身につけたと思います。高校卒業後も私の人生にはさまざまな困難が訪れましたが、「あの頃の苦勞に比べればまだまだ」という思いを持ちながら、前向きに努力し続けることができました。これからのキャリアにおいても、私の経験と精神的な強さが成功へと導いてくれると確信しています。



母校の学生へのメッセージ

自分自身に芯を据えてやり通そう

理想や高い目標を持っている方も少なくないと思いますが、周りに流されず、追い求めた方が人生は楽しいと思います。私自身も、「そんな理想論だよ」「現実はそんなに甘くない」と言われてきましたが、実は目標に向かって努力している過程が一番幸せだったりもします!そのなかで、周囲の人たちにも良い影響を与えるのであれば、絶対にうまくいくはずですよ。社会に出てからの方が人生は長いので、しっかりと目標をもって取り組んでみてください!

今後の地域貢献活動

東北をハンドボールで盛り上げる!

ハンドボールの日本選手権が東北で初開催されたのですが、当社が協賛に加わることになりました。宮城県のハンドボール協会前理事長が、実は私が高校3年生当時の宮城県選抜の監督。「いつも頼むときだけ連絡して申し訳ないんだけど、協賛してくれないか?」というお電話が(笑)試合が行われるときは、コート側の看板に当社名前の掲載される予定です。

